

危機意識を持つ要因(属性別)(複数回答)

危機意識を持つ要因としては、「意欲のある若手・中堅の確保」や「技能等の伝承に時間がかかる」の占める割合が高い。

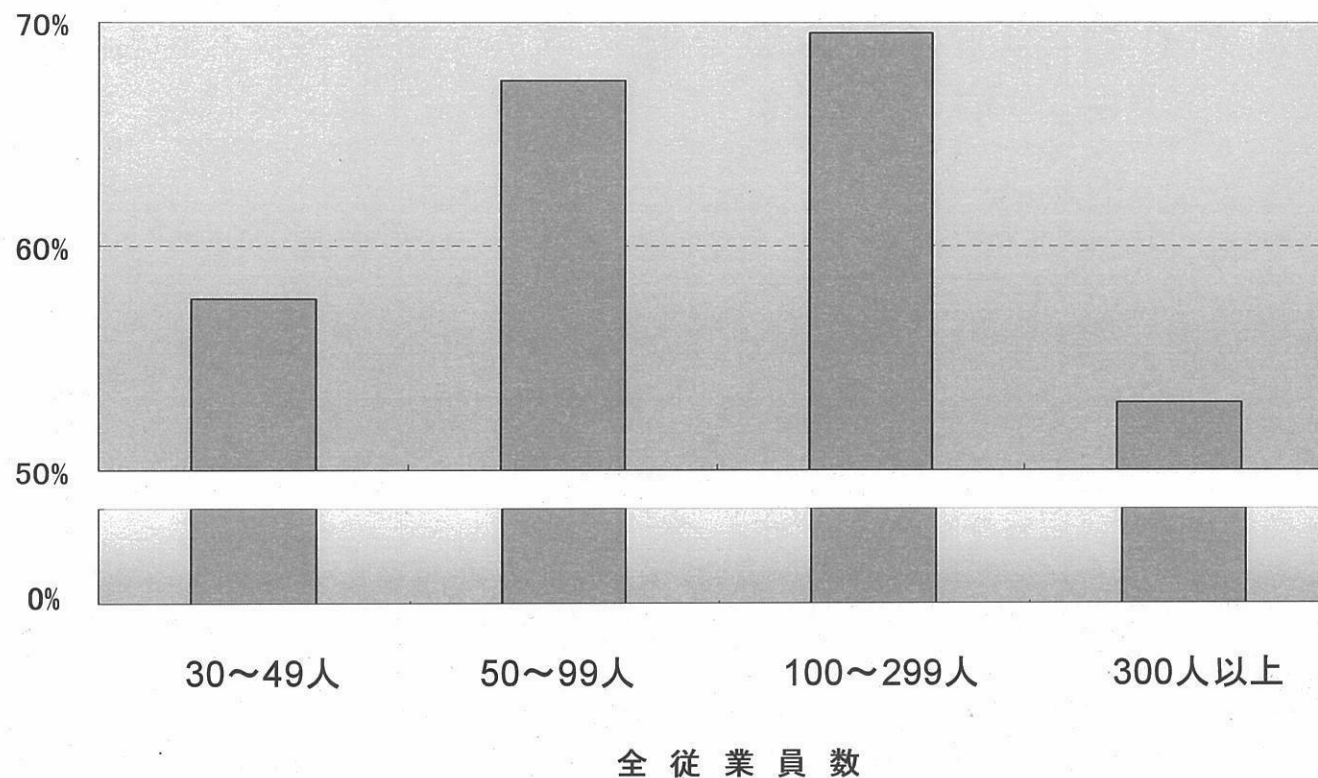
(単位:%)

	意欲のある若手・中堅層の確保が難しい	技能等伝承に時間がかかり、円滑に進まない	年代／レベルの差が開きすぎている	教える人材がいない	継承者が技能等を修得しても転職してしまう	伝承の方法が分からない	その他
合計	63.2	51.1	35.9	15.9	12.1	3.5	4.8
製造業	64.5	68.5	41.9	18.5	12.1	4.0	3.2
建設業	65.5	44.8	37.9	17.2	13.8	6.9	3.4
卸売・小売業、飲食店	43.8	56.3	40.6	12.5	12.5	—	9.4
運輸・通信業	84.4	28.1	25.0	12.5	3.1	—	9.4
サービス業	57.5	37.0	32.9	11.0	16.4	2.7	4.1

資料出所:厚生労働省委託「能力開発基本調査報告書」(平成17年1月調査)
 調査対象企業は、従業員規模30人以上の企業1万社を無作為抽出したもの。
 「2007年問題」に問題意識を持つと答えた企業に対して調査を行ったもの。

2007年問題に対し「意欲のある若年・中堅層の確保が難しい」とする企業の割合

特に、300人未満の中小企業について、意欲のある若年・中堅層の確保が難しいとする企業の割合が高い状況となっている。



(資料出所:厚生労働省委託「能力開発基本調査(2005年)調べ」)